



卵巣

【卵巣】weekly パクリタキセル+ベバシズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: 卵巣がん(がん化学療法後に増悪した場合)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アバスタチン	10 mg/kg	d8、22
パクリタキセル	80 mg/m ²	d1、8、15、22

BEP療法

催吐リスク: 4

適応疾患: 卵巣胚細胞腫瘍

投与スケジュール: 3週1コース (3コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
エトポシド	100 mg/m ²	d1~5
シスプラチン	20 mg/m ²	d1~5
ブレオ	20 mg/m ²	d2、9、16

weekly パクリタキセル

催吐リスク: 2

適応疾患: 卵巣がん(がん化学療法後に増悪した場合)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
パクリタキセル	80 mg/m ²	d1、8、15、22

イリノテカン

催吐リスク: 3

適応疾患: 進行・再発卵巣癌

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
イリノテカン	100 mg/m ²	d1、8、15

カルボプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 卵巣がん (術後補助)

投与スケジュール: 3週1コース(6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	5 AUC	d1

ゲムシタビン

催吐リスク: 2

適応疾患: 卵巣がん(がん化学療法後に増悪した場合)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ゲムシタビン	1000 mg/m ²	d1、8、15

ゲムシタピン+ベバシズマブ

催吐リスク: 2

適応疾患: 卵巣がん (がん化学療法後に増悪した場合)

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アバスタチン	15 mg/kg	d1
ゲムシタピン	1000 mg/m ²	d1、8、15

ドセタキセル+カルボプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 卵巣がん (進行・再発、術前・術後)

投与スケジュール: 3~4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	6 AUC	d1
ドセタキセル	70 mg/m ²	d1

パクリタキセル+カルボプラチン

催吐リスク: 3

適応疾患: 卵巣がん (進行・再発、術前・術後)

投与スケジュール: 3~4週1コース (6コース予定)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
カルボプラチン	6 AUC	d1
パクリタキセル	175 mg/m ²	d1

パクリタキセル+カルボプラチン+ベバシズマブ

催吐リスク: 3

適応疾患: 卵巣がん (進行・再発、術後)

投与スケジュール: 3週1コース (5~6コース)

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
アバスタチン	15 mg/kg	d1
カルボプラチン	6 AUC	d1
パクリタキセル	175 mg/m ²	d1

ペグ化リポソーマルドキソルビシン

催吐リスク: 2

適応疾患: 進行・再発卵巣がん

投与スケジュール: 4週1コース

使用抗悪性腫瘍剤、推奨投与量、投与日

薬剤名	推奨投与量	投与日
ドキシル	50 mg/m ²	d1

推奨投与量の単位

mg/m²:【体表面積】あたりの量 mg/kg:【体重】あたりの量
AUC:カルバートの式により算出 ⇒投与量(mg/body)=AUC目標値×(GFR+25)

略語の意味

NSCLC: 非小細胞肺がん
SCLC: 小細胞肺がん
PD: 病勢進行